

1. 評価結果概要表

作成日 平成 22年 2月 2日

【評価実施概要】

事業所番号	0191500032		
法人名	有限会社 五十嵐水産		
事業所名	グループホーム ゆずりは		
所在地	松前郡松前町字静浦464番地 (電話) 0139-44-2065		
評価機関名	株式会社 サンシャイン		
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F		
訪問調査日	平成22年1月24日	評価確定日	平成22年2月9日

【情報提供票より】(21年 11月 14日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 19年 2月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 4人、非常勤 5人、常勤換算	6.4人

(2) 建物概要

建物構造	ブロック 造り		
	1階建ての ~ 1階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000円	その他の経費(月額)	水道光熱費:12,000円 暖房費:5,000円(10-4月) 日用品:1,000円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(11月 14日現在)

利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護 1	0 名	要介護 2	2 名
要介護 3	4 名	要介護 4	3 名
要介護 5	0 名	要支援 2	0 名
年齢	平均 84 歳	最低 77 歳	最高 92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	松前町立松前病院、江良歯科診療所、田口歯科医院
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

松前町の城下町の風情のある町並みを通り車で10分ほど走ると、神社の裏手にグループホーム「ゆずりは」がある。経営母体が水産業で、新鮮な魚介類を提供したり、事業所前の広場でマグロの解体ショーを実演して利用者に振舞い、笑い声が聞こえてくるような笑顔一杯の利用者の姿が写真に収められている。事業所内は明るく清潔感があり、居間の花瓶に飾られた見事な寒椿に心を癒される。利用者は地域の方々と交流しながら楽しく、穏やかに生活している。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善課題である「理念の共有」と「鍵のかけないケアの実践」は改善されているが、「終末期の方針の共有」と「災害対策」は改善に至らず、今後の取り組みを期待する。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は責任者が作成して職員から意見をもらっているが、全職員で取り組むことが望まれる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議では評価の結果を公表し、事業所の活動報告などを行っている。参加家族からの意見や要望もあるが、4ヶ月ごとの開催である。メンバーの参加意欲に繋げる工夫が望まれる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	運営推進会議や家族の訪問時に意見や要望を聴いて、ミーティングで話し合い運営に反映させている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の行事には積極的に参加している。町の文化祭に利用者の作品を展示したり、近くの小学生とのふれあいがあり、事業所内外で地域との交流をしている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域住民と交流のもと、「ゆったりと穏やかに、のんびりと楽しく、ともに笑顔で」を理念とし、事業所独自の理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関や居間に理念を提示し、ミーティング時に理念に触れ、確認し合うようにしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町の文化祭に作品を展示したり、町内会行事には積極的に参加している。地区の小学生が訪れ歌や踊りを披露してくれるなど、地域との交流をしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的は理解しているが、自己評価は責任者が作成して職員の意見をもらっている。		自己評価は日々のケアの振り返りや職員の意識合わせの機会であり、全職員で取り組むことを期待する。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は評価結果の公表と事業所の活動報告などを行っている。参加メンバーからの意見や要望はあるが、4ヶ月に1回の開催である。</p>		<p>メンバーの参加意欲に繋げるために、事業所の行事に合わせて開催するなど工夫をして、2ヶ月ごとに実施することを期待する。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>町の担当者とは介護保険や運営などで常に連携をとり、一緒に解決を図り、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>日々の暮らしの様子は写真を添えて一人ひとりの家族に毎月郵送している。金銭出納の内訳はコピーをして報告しているが、領収書は事業所が保管し報告はしていない。</p>		<p>金銭出納の内訳は領収書を添えて家族に確認してもらい、職員の異動がある時も報告することが望まれる。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の訪問時に声がけし意見や要望を話せる雰囲気作りに留意し、出された意見はミーティングで話し合い運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>馴染みの職員によるケアを心掛けている。新人の職員が入った時は先輩の職員が指導し、利用者のダメージを防ぐ配慮をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修会にはなるべく多くの職員が受講できるようにシフトを調整して参加している。研修内容は閲覧し、全職員が確認できるようにしている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業施設とは研修会や行事、相互訪問などで常に連携をとり、情報交換をして、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人と家族に事業所を見学してもらったり、スタッフが自宅を繰り返し訪問して馴染みの関係を築き、安定するのを見極めてからサービスを利用してもらっている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>本人の不安がないように、職員は笑顔で接し、楽しい会話を心掛け、利用者のできる仕事を一緒にして、感謝の言葉を伝えている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々かわりの中で一人ひとりの意向を把握し、希望に沿った支援をしている。意志疎通が困難な利用者には、表情や仕草で真意を測ったり、家族から情報を得て支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	業務日誌の記録やアセスメントで職員の意見を取り入れ、かかりつけ医の診断をもとに、本人と家族の要望を聴きながら介護計画を作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的には6ヶ月ごとの見直しとしている。状態に変化が見られる時には、かかりつけ医や家族と相談して随時見直しをしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の状況や要望により、受診支援、通院支援、帰宅の送迎など臨機応変に柔軟な支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望するかかりつけ医としているが、遠方の受診は家族の同行受診とし、同意を得ている。協力医は夜間対応や訪問診療に来てもらうこともあり、適切な医療を受けられるように支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期について主治医と話をしたことはあるが、事業所としての対応や指針を定めるまでには至っていない。		事業所が対応し得るケアについて指針を定め、全員で方針を共有することを期待する。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	勉強会やミーティングの時にプライバシーを損ねない対応について話し合っている。個人の記録は事務所に保管している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の時間はある程度決めているが、本人の気持ちを尊重して、一人ひとりに合わせて支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	運営者が提供する新鮮な食材で職員と一緒に楽しく食事をしている。利用者のできること、できないことを見極めながら、食事の準備や後片付けを一緒にしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回、入浴日としているが、希望によりいつでも入浴ができる。入浴に抵抗感のある利用者には体調やタイミングをみて支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	昔の町並みの様子をDVDで観賞して楽しんでいる。ぞうきん縫いや歌など一人ひとりの力を発揮できるように配慮し、職員は感謝の言葉を伝えている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は事業所前の広場にベンチと椅子を用意して、周囲の草木や花をみて季節を感じている。希望により買い物や散歩など柔軟な支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室には鍵を取り付けているが、使用している利用者はいない。日中は玄関に施錠せず自由な暮らしを支援しているが、夜間は防犯のため鍵をかけている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に火災訓練をしているが、夜間想定を含んだ訓練や地域の方々の参加には至っていない。		地区の消防団員と連携をとり、協力を依頼し、夜間想定を含んだ訓練を実施することを期待する。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	町の管理栄養士に、食事量と、献立や栄養のバランスの指導を受けているが、水分摂取量の記録が不透明である。		水分摂取量をチェック表に記録し、職員間で情報を共有することが望まれる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間はバリアフリーが完備され、フロアには利用者の作品や写真が飾られ、家具の配置も家庭的である。居間の花瓶に活けてある寒椿に季節を感じ、不快な音や臭いもなく、採光もカーテンで調節している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、家族と相談し、自宅から冷蔵庫や仏壇、家具などが持ち込まれており、家族の写真などを飾るなど居心地よく過ごせるように工夫がなされている。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。